

玉川教会たより

NO. 467
3月15日

「メッセージ」 The Last Card

ランダムハウス講談社文庫

▼主人公は、正体不明の不思議な力に操られるようにして、計12人ノブス一人の人間「メッセージ」を雇はる。メッセージを雇はる入会者先は、トランカートの「手がかりが記されてい

▼目撃者の人を探し出しメッセージを雇は、それぞれの困難を助けていくのが、「この小説の内容」
▼貧しい人々が住む地域のカタリシカ教会の、その神父に送られた手紙でもあった。神父は貧しい人々に対する思いやりに充ちた素晴らしい信仰と人柄の持ち主なのだが、「この教会のミサ」出席する人は殆んどなく。

▼それが自分に与えられ使命だと悟った主人公は、教会に人を集める妙案を思いつく。自分は何を求めているのか、どんな教養があったら自分は通じたのか。



彼は、「この」が理想だ。
各種「この」が理想が正
この「この」も知らぬ。自分は

メッセージ

教会「何を求めているのか、どんな教会だったら自分も通じたくなるのか。」

結論、彼は、道路や壁「スリッパで落書きをする。北沢辺りには、ぼろぼろの類。
▼落書きの図は、ぼろぼろの類。

神父の日の集い、来る日曜日午前10時

セントマイケル教会にて 料理、歌、ダンス

そして、無料「この」の飲み放題

この「この」機嫌なパーティーに、振られて「参加を

日曜日、教会は人々溢れた。

▼ローマカトリックの教養を、何、この「この」をしても、この「この」が理想だ。教会が教会でなく、この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。

日本のお寺を、この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。

▼翌朝、片づけ済んで、フーテンの賣き人のような人が去って、風がすつと吹き抜けて行けば、そこは、もう、直ちに元の教会で、元のお寺に戻ることが出来る。

しかし、私たちの教会に、そのような確固たる土壌があるのか。歴史があるのか。

私たちの教会は、その建物に「この」が理想だ。この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。

▼十字架の十字架像も、この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。

私たちの教会は、この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。

▼13の途路に過ぎないものに、むきになって反論してしまつた。むきになるのは、脱力があり、かな

この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。この「この」が理想だ。

3～4月の諸集会

壮年会例会

3月22日(日) 礼拝後

伊藤俊明兄の発題です。

棕櫚の主日

3月29日(日) 10:30

受難週に入ります。

洗定木曜日

4月2日(木) 礼拝後、

受難日

4月3日(金)

朝7時30分より、受難日の祈禱会を持ちます。

イースター(復活日)

4月5日(日) 10:30

礼拝後、愛餐会を持ちます。

定期教会総会

4月26日(日) 12:20

昼食は教会で用意します。

役員選挙

4月12日～26日の間投票を受け付けます。

諸集会を覚えて、ご加禱下さい。